

短い留学生生活を振り返りながら

柳美莉（韓国・同徳女子大学校）

私は4月から交換留学生として来ています。4月から今まで、短い期間だったのですが、沢山のことを経験しました。私は二つのことについて話したいと思います。

1. 学校での生活

私は今専攻の授業と留学生の授業両方を含め、11個の授業を取っています。

留学生の授業では他の国で来た留学生達と日本の色々な面について学べるいい場所だと思います。また、この授業では日本についてだけではなく、異文化を接するいい場所だと思います。なぜなら、日本語、日本文化以外にも他の国の文化について知ることができるからです。留学生として日本でもっと楽しい生活を過ごすためのノウハウ全般を他の留学生達と共有できるのも一つの理由です。

専攻の授業は、私の場合は日本古典文学の授業を取っています。授業が難しいのでわからないことが沢山あり、困ったことも結構ありました。留学生である自分一人では乗り越えられないと諦めようと思ったこともありました。私はこのような問題を大学院生のチューターの人に相談しながら、チューターと一緒に乗り越えることができました。私はここで授業を受けながら、日本の古典文学の知識だけではなく、協同する力を感じられるいい機会になりました。

2. 寮での生活

韓国にいた時には実家暮らしだったので、寮での生活は初めてでした。自分が一人で料理をするのには慣れてなかったのですが、食事を準備するのに時間がかかるし面倒くさいと思いながら、たまに外食をしながらすごしています。ごみを捨てる時間、お風呂



呂に入れる時間が決められていて、最初には不便だと思ったのですが、やはりルールがある方が寮に住んでいる全員の暮らしをもっと楽にさせると思っているのです、今は完全に慣れてしています。

たまに、同じ階に住んでいる日本人や留学生と台所で会って話をしたり、エントランスで同じ寮に

住んでいる友達と話したりしながら楽しんでいます。みんなで安いお店の情報を共有して一緒に行ってみたり、寮内で一緒に母国の料理をして他の人たちに食べさせたりなどの様々なこともありました。

ここに来てまだ何ヶ月経っていませんが、様々な嬉しかったこと悲しかったことがありました。私はこれからも半年ぐらいはここで生活する予定なので、今までのような日本人と留学生たちとの交流をこれからも続けながら楽しい生活を過ごしたらいいなと思っています。